

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B - 5 9	講座名	干潟の学校 ～藤前干潟でいろんなことしましょ！～
記載日	2023/3/29	団体名・企業名	N P O 法人藤前干潟を守る会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>たとえ大潮であっても秋冬の昼間にほとんど干潟が出ないため、春夏のようにどろ干潟に入っている観察会はできませんが、秋冬には秋冬の楽しみや魅力があります。</p> <p>稲永ビジターセンター側のヨシ原では、寒さが厳しくなる直前と3月啓蟄を過ぎ暖かくなった初干潟、それぞれに生きものを観察して季節による変化を感じました。</p> <p>藤前干潟活動センター側では、毎年大人気の手づかみ体験を通して、伊勢湾台風前までは豊かな漁場であったことや海苔養殖も盛んだったこと、そしてもう一度豊かな藤前干潟を取り戻したいというメッセージを伝えました。材料の生海苔の質も大変良く、上質の海苔がすけたと思います。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
2月5日(日) 藤前干潟活動センターで海苔作りかなり上質な海苔がすけました。		3月18日(土) 稲永側のヨシ原で生きもの観察「雨も自然」と楽しく観察しました。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>自然系の活動は天候に大きな影響を受けますが、今回ほどそれを痛感した年度はなかったと思います。</p> <p>「海苔を作ろう！」は真冬に水を使うプログラムですが、ポカポカと汗ばむほどの好天に恵まれ、気持ちよく楽しく海苔作りに集中できました。</p> <p>逆に10年間継続してきた「カワザンショウガイ調査」は、名古屋市にまさかの大雪警報が発令され、中止せざるを得なく本当に無念でした。さらに第4回の「初干潟！」では、23名の受講申込があったものの、家族に発熱者が出た等のキャンセルが相次いだうえ、当日の寒さと小雨という状況で、実際の受講者はわずか5名という結果でした。ただ参加人数が少ない分、ゆったりと存分に観察に集中できました。</p> <p>来年度はカワザンショウガイ調査を、何としても継続していきたいと考えています。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に干潟で観察ができて、干潟のことがよく分かり勉強になりました。もう少し時間が長いと嬉しいと思いました。 ・DVDの映像を見てからのり作り、とても楽しかった。適切だったし、分かりやすく良かった。 ・名古屋にも自然が保存されているところがあることを認識できたことや、スタッフの方が分かりやすくご説明して下さいました。 ・短時間で少人数で、じっくりとお話や観察のコツをきけました。前回秋の参加時よりもカニの種類が様々でした。ありがとうございました。 			